

競技者の装備

第8条 P 1 3

1（レーシング・ウェア）

競技者は、**袖付き**のジャージと**短い**パンツを着用する。ひざ上までのものが短いパンツと解される。ワンピース形式も認められるが、袖なしは禁止する。

4（ヘルメット）

ロードレースにおいても、競技・練習において本連盟（**JCF**）**公認**のヘルメットの着用を義務付ける。

ゼッケン(ナンバー・カード)

第 1 2 条 P 1 7

1 (ボディ・ナンバー)

競技者は、常時明瞭に見えるようボディ・ナンバーをしっかりと付けなければならない。**2枚**付ける場合には**5 c m**以上の間隔を空けてつける。

5 (寸法)

高さ **1 8 c m**、幅 **1 6 c m**

ロードレースの自転車の規定、服装



JCF公認シール

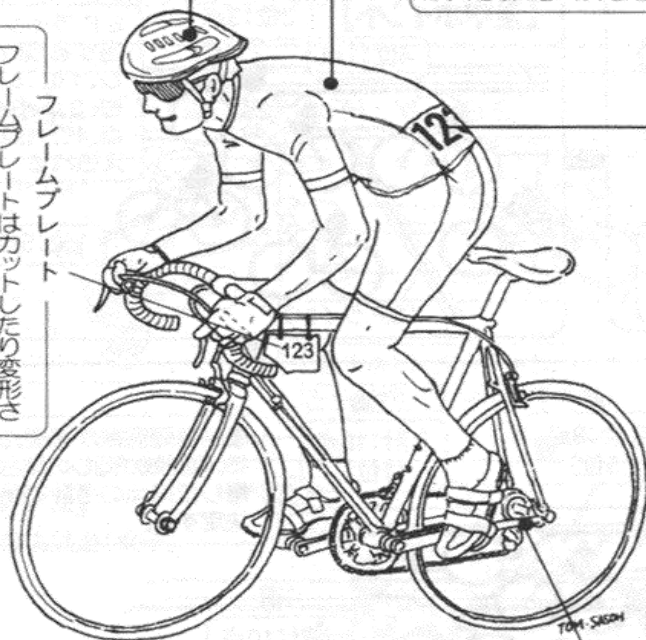
ヘルメット

ヘルメットは、ガラス繊維、ポリエステル樹脂等で、耐水性、耐熱性、耐寒性に優れた材質で作られている。頭部に馴染み、不快感を与えない。左右の視野は105度以上、重量は2kg以下の軽量であること。なお、「JCF公認」の表示のあるものに限る。

ジャージ/パンツ

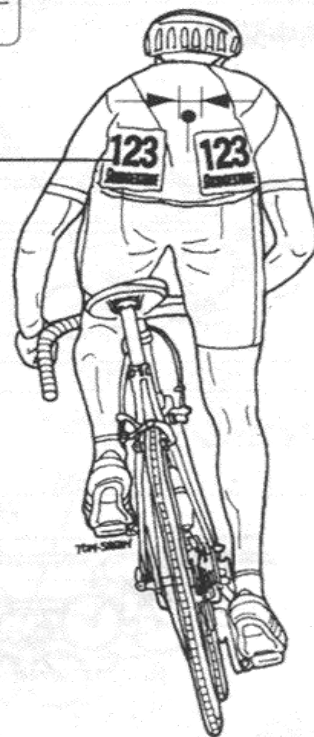
選手は、袖付きのジャージと短いVパンツ(膝上までの短いもの)を着用する。ジャージの腰部には、飲食料を入れるためのポケットがある。

フレームプレートは、フレームの前後に取付けられる。通常はフレームの前後に取付けられる。



ボディナンバーは安全ピンで四隅を止め、カットしたり折り曲げたり、変形させてはならない。5センチ以上離し、両腰に2枚取付ける。タイムトライアルの場合は1枚でよい。

ボディナンバー

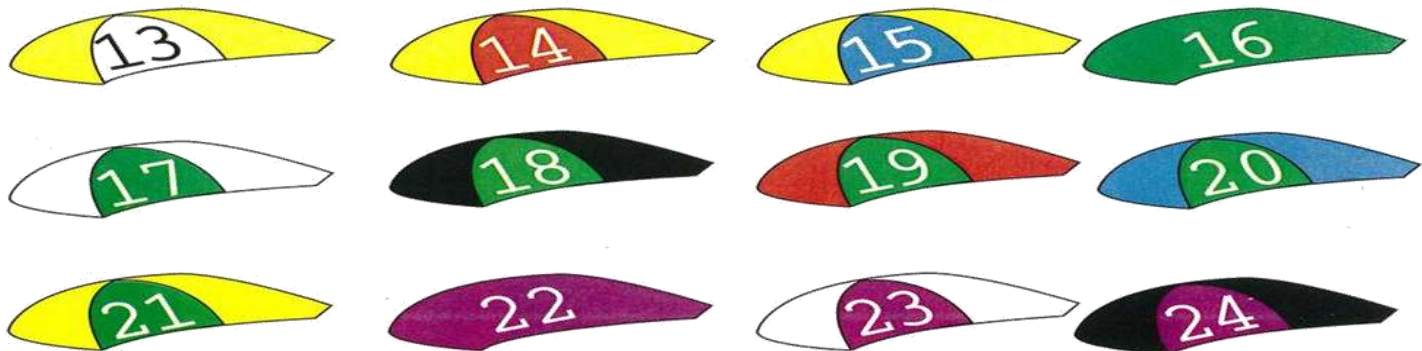
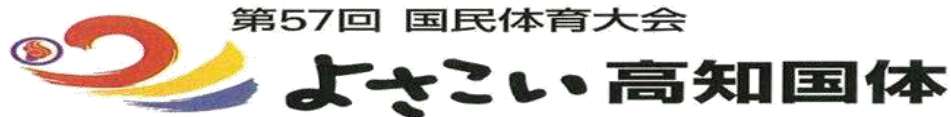
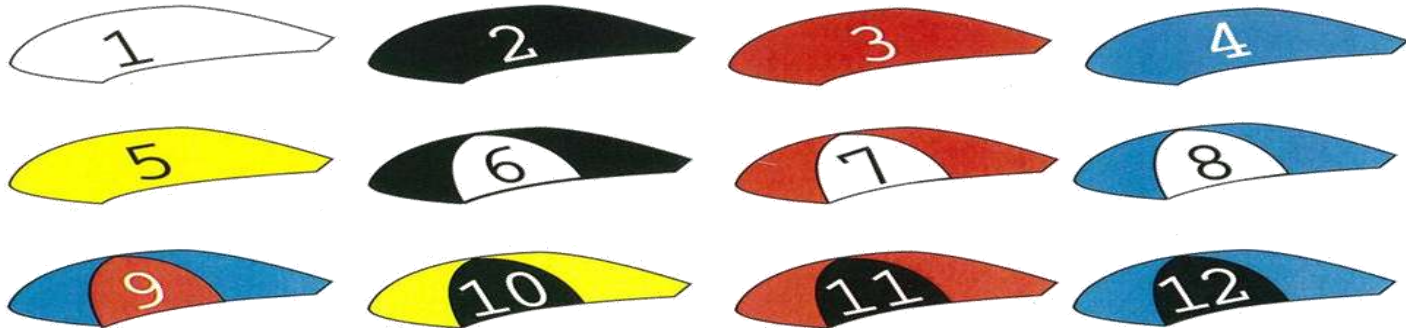


ロードレーサー

競技に使用する自転車は、「全長:185cm、全幅:50cm、重量は6.8kg」を下回らない事で前後同一車輪径である。18~20段変速でスピードを工夫しながら走行する。下り坂では時速70~80Kmlになる。

ヘルメットカバーの種類

第14条 18P



自転車

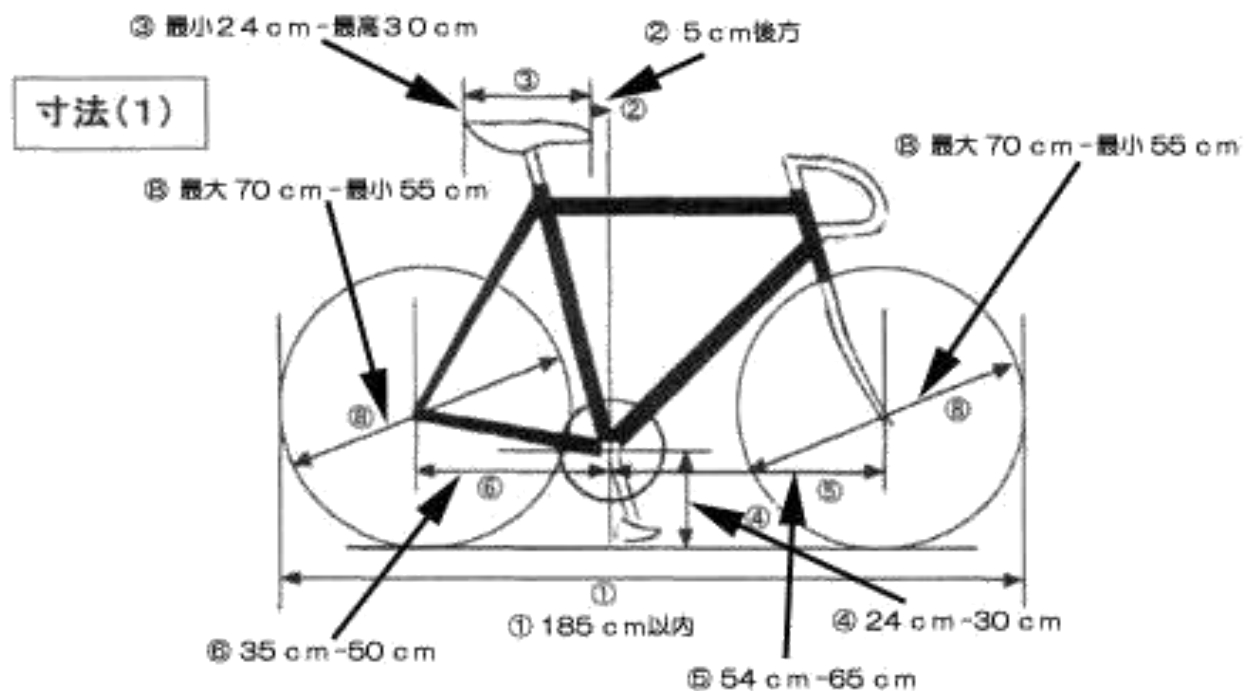
第 1 6 条 3 P 2 0

3（自転車）

- ①全 長：1 8 5 c m 以内
- ②全 幅：5 0 c m 以内
- ③サドル先端：B B 中心より 5 c m 後方
- ④重 量：6 . 8 k g 以上

※ 適用外

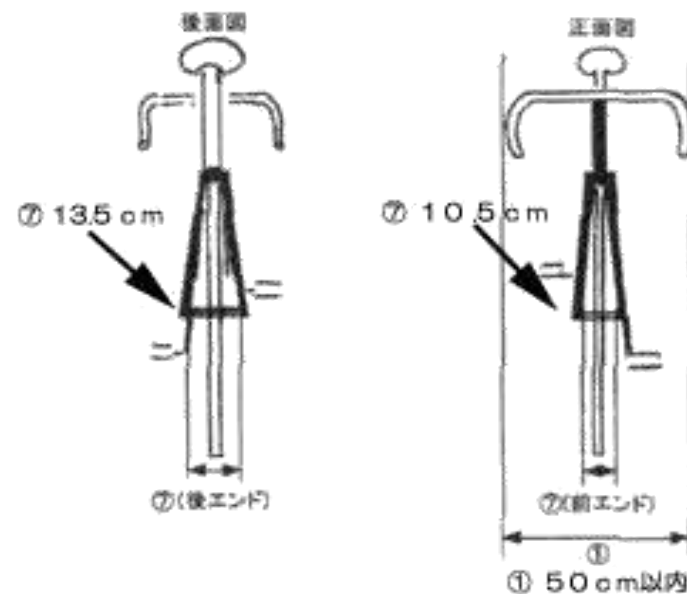
スプリント、ケイリン、500m、1 k m
タイムトライアル
いかなる場合も B B の中心より前に出て
はならない。



① 全長185cm以内

② サドルの先端、BB垂線より5cm後方

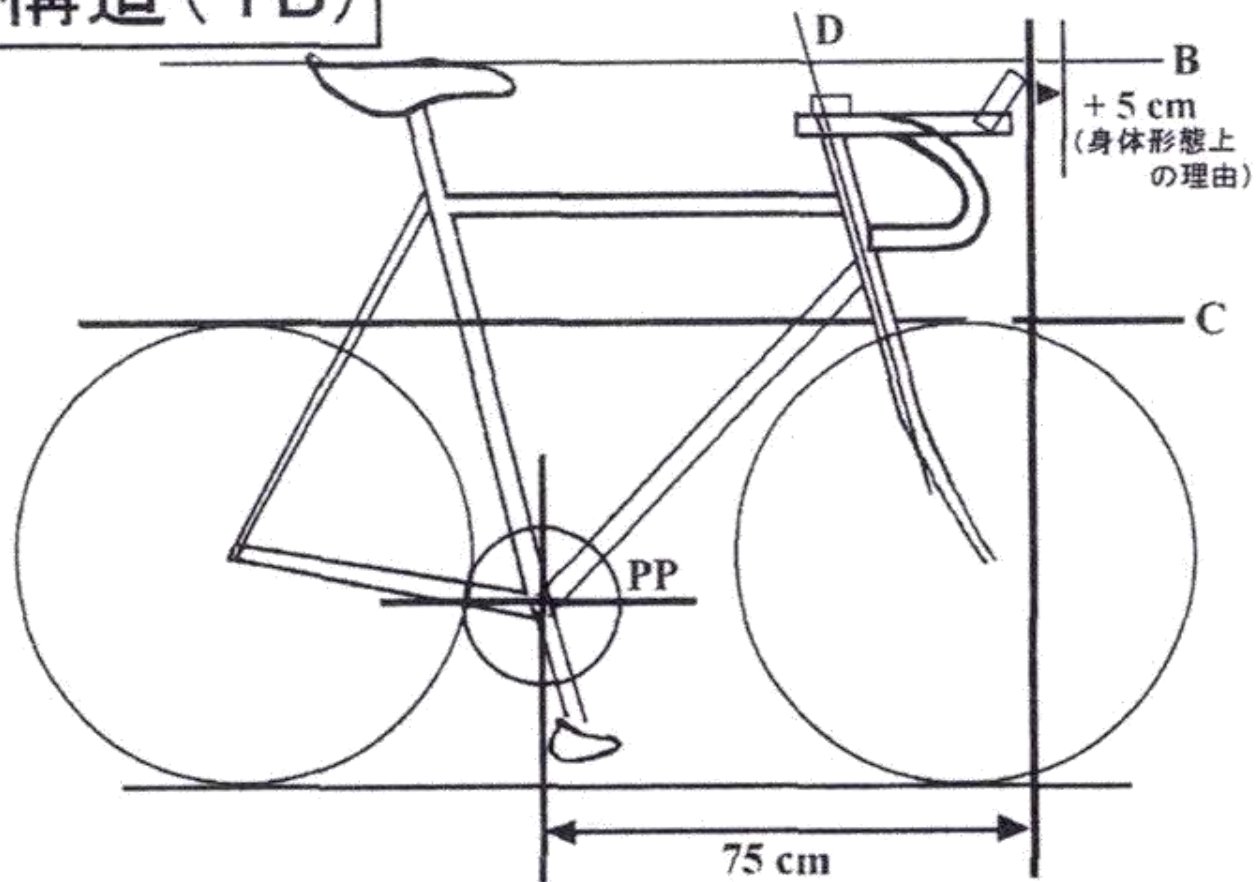
③ サドルの長さ24～30cm



第 1 6 条 3 (自 転 車)

- サドル支持：水平
- 車輪：最少 1 2 本のスポーク
- 重量：6 . 8 k g 以内
- ハンドルバー P 2 3
 - 上限：サドル座面 B
 - 下限：前後輪上端 C
- ハンドルバー延長部 P 2 4
 - B B 中心から 7 5 c m
- ※ 身体形態上の理由により 8 0 c m
まで延長できる。

構造(1B)

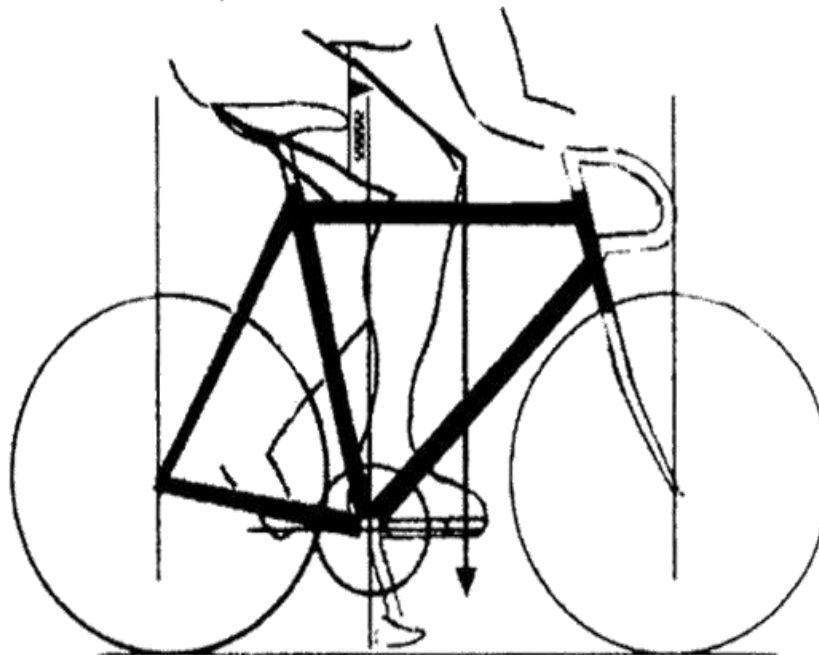


P 2 0 寸法（２） 身体上の理由

※：当条項および第16条3.(2)a)②における注*で示した距離は、身体形態上の理由で必要な場合には縮小できる。身体形態上の理由とは、競技者の体格、手脚の長さに関するすべての要素を考慮に入れて解釈する。

これらの理由により、規定より寸法の小さい自転車が必要であるとする競技者は、ライセンス・コントロール時にコミセール・パネルに申告しなければならない。この場合、コミセール・パネルは下記のテストを実施する。測鉛線を用いて、ペダリングの際に競技者の膝が最前部の位置で、ペダル軸を通る垂線を超えることがないかを確認する。（「寸法（２）」図を見よ）

寸法(2)



自転車(トラック)



自転車(ロード)

